

小平市
大学連携協議会の
(こだいらブルーベリーリーグ)
あゆみ



市長挨拶



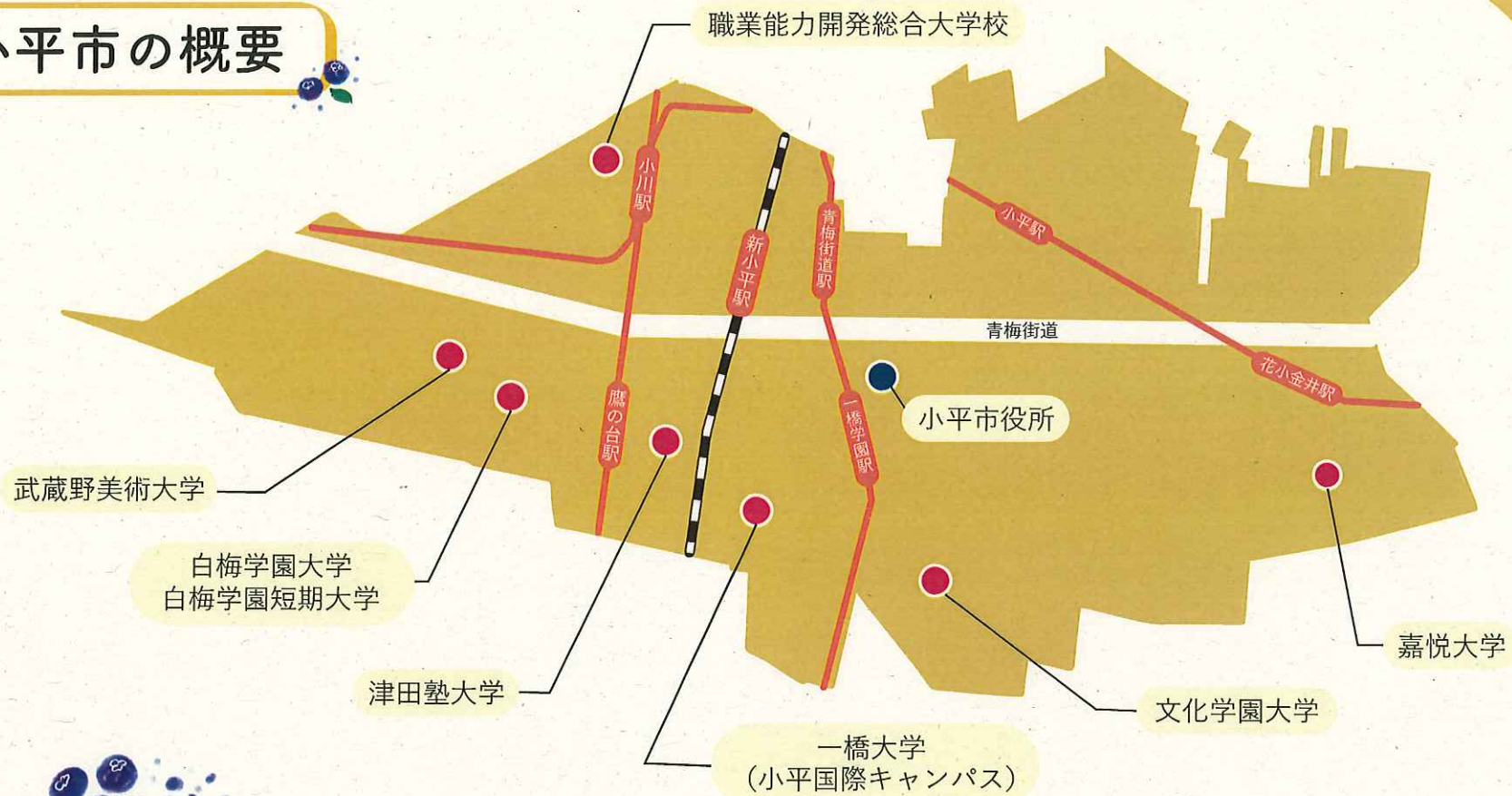
小平市は大学が数多く立地する学園都市であり、多くの学生が学び暮らしています。それぞれ特色の異なる大学や行政が連携し、その英知、集積を相互に活用することで、地域社会の発展と人材育成ができないか、そんな思いから小平市大学連携協議会は誕生しました。誕生から今日まで、本協議会では学生の地域活動を支援する取組みを数多く行って参りました。学生たちは活動を通じて、知識、能力を高めるだけでなく、地域社会への貢献意識を一層強くしたと思います。本協議会の取組みはそのきっかけとなり、ひいては地域社会の発展に大きく寄与するものと確信しております。市行政においても令和3年度から第四次長期総合計画がスタートし、新たな市政の始まりとなります。本協議会においても、今後より一層の関係強化とますますの発展に向けて、新たな一步を踏み出していただきたいと考えております。

小平市大学連携協議会（愛称：こだいらブルーベリーリーグ）とは

小平市と市内の7つの大学等（嘉悦大学、職業能力開発総合大学校、白梅学園大学・白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武蔵野美術大学）で構成する協議会です。地域社会の発展と人材の育成を目的とし、平成25年3月18日に発足しました。市と大学及び大学間で定期的に情報交換、情報共有を行い、相互のつながりを深めると共に、大学や学生が地域とどのように関わるかなどについて協議しています。また、地域での教育機会の提供や、学生の自主的な地域活動を支援するなど、地域への帰属意識や愛着を高める取組みも行っています。市と大学、学生と地域を相互につなぐ役割を担っています。



小平市の概要



人口 195,543 人 (令和 3 年 1 月 1 日現在)

面積 20.51 km²

標高 76.461m

気温 平均最高気温 21.1°C 平均最低気温 11.6°C

北緯 35 度 43 分 41.8 秒

東経 139 度 28 分 41.5 秒

小平村誕生 明治 22 (1889) 年 4 月 1 日

小平町制施行 昭和 19 (1994) 年 2 月 11 日

小平市制施行 昭和 37 (1962) 年 10 月 1 日

市の木 ケヤキ

市の花 ツツジ

市の鳥 コゲラ

小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集より



大学連携協議会の沿革（主なもの）

- 平成 22 年度 小平市の呼びかけにより市内の 6 大学が集まり、それぞれ特色を持った大学の集積を活用して地域活性ができないか議論を開始
- 平成 25 年 3 月 小平市大学連携協議会発足
参加大学 嘉悦大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武蔵野美術大学
- 平成 25 年度 まちで楽しむ 1 開催（以後毎年開催） 地域 PR 部会「ポスター展・コダイライフ」開催
- 平成 26 年度 地域 PR 部会「コダイライフ」発行
選挙 K 発部会「高校での模擬投票授業」開催（以後毎年開催）
- 平成 27 年度 学生による映像発表会の開催、防災クエストの作成
- 平成 28 年度 小平を元気にするプロジェクト（こだプロ）、ウインドウディスプレイアーツプロジェクトの実施
- 平成 29 年 9 月 職業能力開発総合大学校が加入
- 平成 30 年 11 月 武蔵野美術大学と包括連携協定締結
- 平成 31 年 1 月 津田塾大学と包括連携協定締結
- 平成 31 年 2 月 白梅学園大学・白梅学園短期大学と包括連携協定締結
- 令和 元 年 6 月 嘉悦大学と包括連携協定締結、NPO 体験セミナー 2019 開催
- 令和 3 年 3 月 小平市大学連携協議会のあゆみ発行



大学連携協議会の活動内容

小平市大学連携協議会では、次の3つを中心的な取組みとして活動を行っています。

1 小平市大学連携協議会連絡調整会

小平市大学連携協議会連絡調整会（以下、連絡調整会）は市と大学の連携についての協議・調整を行う会議です。大学連携協議会の公式な会議で市及び各大学等の担当者（教員及び事務担当者）が集まり、年3回程度実施しています。事業の実施や予算・決算に関すること、地域活動を推進するための仕組みづくりなど、その時々で必要な議題が話し合われます。



2 部会活動

部会とは大学連携協議会の事業を実践する分科会で、市が大学・学生に協働を求めた事業を実施しています。これまでに行われた活動の一部を紹介します。

地域PR部会

「コダイライフ」（市の魅力をポスター化）の展示
(H25)



学生が小平の魅力を探索し、そこに関係した個人に焦点を当てたポスターを組写真のように作成して、情報発信する企画。学生の成長と地域のPRを図ることを目的として実施。

選挙K発部会

「高校での模擬投票授業」の開催
(H27～)



市の選挙管理委員会と嘉悦大学が協働で、市内の高校生に模擬投票授業を行う企画。選挙権年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、高校生に対する主権者教育が重要となった。候補者を選ぶ際の情報の集め方や選挙に関する知識を深めると共に、政治について考え、投票することの重要性を感じてもらうことを目的として実施。

3 学生と地域をつなぐ取組み

「まちで楽しむ」の開催

「まちで楽しむ」とは学生が日頃行っている地域活動を、他大学の学生や市民、市民活動団体等に対して紹介、発表する大学連携協議会最大のイベントです。イベント当日は、様々な大学の学生団体が一堂に会し、それぞれの活動内容を発表します。お互いの活動を知ると共に、学生同士や市民との交流の場となっております。

開催：5月下旬

場所：武蔵野美術大学鷹の台キャンパス（第3回まではルネこだいらで開催）

内容：学生団体による地域活動の発表（1部）とディスカッション（2部）

参加：7大学等の学生団体、市民活動団体、一般市民

主催：学生による実行委員会



まちで 楽しむ

小平を主な拠りに活動している学生たちが活動内容を発表したり、他大学の学生や地域の方々とディスカッションを通じてふれあうイベント「まちで楽しむ」。今回の冊子では、これまでの活動内容を振り返り紹介します。

～もくじ～
まちで楽しむとは？ p.2-3
まちで楽しむのイベントレポート p.4-5
まちで楽しむの出版団体 p.6-7
参加者のコメント p.8

報告冊子



第1部（前半） 地域活動の発表

第1部は、学生団体が日頃行っている地域活動の内容を発表します。発表は各ブースに分かれてポスターセッション形式で行われます。活動の様子を映した写真や映像、制作物などを展示したり、制作した実物にさわってもらったり、毎年様々な工夫を凝らした発表が行われています。



第2部（後半） 学生と市民によるディスカッション

第2部では、いくつかのグループに分かれて設定されたテーマについて議論を行います。グループ内のメンバーは、異なる大学の学生、市民、市民活動団体のメンバーなど、所属や年代も様々です。普段の生活ではなかなか触れ合うことの少ないもの同士が集まり、世代を超えて意見を交わす機会となっております。



学生団体

他の大学の学生や市民と交流できる貴重な機会になっている。

小平市に対し改めて愛着を感じることができた。

プレゼンテーションの経験を積むことができた。

市民の方に今まで知らなかった事を教えていただき、勉強になった。

参加者からの意見



来場者（市民、市民活動団体など）

地域で活動を行っている学生がたくさんいることに驚きを感じた。

学生の発表を通じて地域の課題を知ることができた。

ディスカッションで提案されたアイデアの一つでも実現できれば嬉しい。

学生の若さ、パワーを直に感じる事ができた。

こだいらNPO体験セミナーの開催

こだいらNPO体験セミナーとは、学生が夏休みを利用して、NPO団体の活動に参加し、ソーシャルワークやコミュニティビジネス、コミュニティデザインなどを現場で体験する取り組みです。実際の活動を経験することで、その魅力や、やりがい、難しさなどを肌で感じ、学ぶことができます。NPO版のインターンシッププログラムとも言えます。また、体験した内容について発表する場も設けております。発表会は誰でも聞くことができるため、学生を受け入れた団体だけでなく、関心のある市民や市民活動団体、ボランティア団体なども参加します。



開催：毎年6月から9月頃

場所：市内の大学及び市民活動の体験場所

内容：NPO団体の紹介（6月）、活動体験（夏休み期間）、体験内容の発表（9月）

主催：こだいらNPO体験セミナー推進委員会



こだいらNPO 体験セミナー2019

～大学生と市民活動の出会いの場～

2019年6月23日(日)
13:00～17:00

武蔵野美術大学 10号館 3階 305 教室

コミュニティビジネス、コミュニティデザイン、ソーシャルワークなどを現場で体験できます。NPOや市民活動との出会いの場です。小平の地であなたの地域活動のチャンスを広げます！

参加費：無料
対象：小平市内在住・在学の学生
※要申し込み（詳しくは募集へ）

基調講演

「人がつながり、まちが動く。」



講師
河野 奈保子

元NPO法人グリーンス
(武蔵野美術大学卒)

当日プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開会
- 13:10 基調講演「人がつながり、まちが動く。」
- 14:00 NPO との出会いの場
- 16:00 活動参加先 NPO の決定 & 発表
- 17:00 終了

【共催】 真光大学、白鴎学園大学、武蔵野美術大学、小平市社会福祉協議会、NPO法人小平市民活動ネットワーク、小平市大学連携協議会（こだいらブルーベリーグ） 【実行主体】 こだいらNPOセミナー第16期推進委員会



学生、NPO団体、大学それぞれのメリットは？



学生にとって

NPO団体の実際の活動を体験することができます。また、地域活動や中間支援組織、地域プロジェクトなどに主体的に参加する機会となり、それを通じてコミュニケーション能力の向上や学習の専門性を高めることができます。



NPO団体にとって

日頃の事業や活動を学生と共に行うことで多様な気づきを得ることができます。参加学生たちの活力や専門性に触れることで、活動を活性化させるきっかけとなります。

大学にとって

体験的な学習や実践的な研究、社会貢献や地域との連携事業、インターンシッププログラムなどが推進され、地域との協働が生まれます。

NPO団体との出会いの場（6月頃）



学生とNPO団体との出会いの場は毎年6月に武蔵野美術大学で開催しています。本セミナーへの参加を希望する学生及び受入側のNPO団体が一堂に集まり、体験内容やスケジュールなどを説明します。最初にNPO団体から団体の概要や体験内容などについて説明が行われます。その後、学生はさらに詳しい説明を聞きたい団体のブースを回り質問などを行います。いくつかのブースを回った後、体験する団体を決定し申込みを行います。



活動体験（夏休み頃）

学生は主に夏休みを利用して活動体験を行います。「出会いの場」にて申込をした団体と事前に調整した上で、所定の日時に団体に出向いて活動を体験します。体験日数は団体により異なりますが、1日から数日となるのが一般的です。実際の活動を体験することで、外からでは分からないことを身をもって感じることができます。



体験内容の発表（9月頃）

学生が体験を通じて、見たこと、感じたことなどを発表する機会を毎年9月に設けています。また、受入団体からも感想や講評をもらい、学生、団体それぞれにとっての振り返りや交流の機会となっております。



学生による地域活動の紹介



嘉悦大学 ローターアクトクラブ

在校生で構成される国際奉仕団体！
経営者との接点もあり、社会マナーも学べ、年5回小平市内で開催されるお祭りでの出店、月2回の例会活動を通して地域社会との交流などを行なっています。



一橋大学 アメリカンフットボール部・ア式蹴球部

市内の小学生を対象として、早く走るコツを学ぶ「スピードトレーニング教室」を開催しました。周知活動のため地域の代表者の集まる会議に参加したり、青少年対策地区委員会と連携してチラシ配りなどを行いました。



津田塾大学 Chicas Unidas (チカスユニダス)

ペルーの貧困地域の女性が作るアルパカニット製品の販売を通して、生活支援を行なっています。まちチョコプロジェクトでは、限定パッケージのフェアトレードチョコを販売し、小平市でフェアトレード認知活動をしています。



武蔵野美術大学 視デ3年空間構成III けやきチーム

知的障がいを持った人と繋がる。私たちけやきチームは、けやき青年教室でのワークショップを始め、障がい者週間に行われる異才たちのアート展・障がい者作品展・みんなでつくる音楽祭に携わらせていただきました。



学生たちが、大学の枠を越えて地域に飛び出して活躍しています。
小平市大学連携協議会は今後も学生たちの活動を支援していきます。

文化学園大学 栗山ゼミ

栗山ゼミ × こだいら観光まちづくり協会
こだいら観光まちづくり協会と連携して小平産の野菜・くだものを使ったお土産商品開発プロジェクトにチャレンジしました。



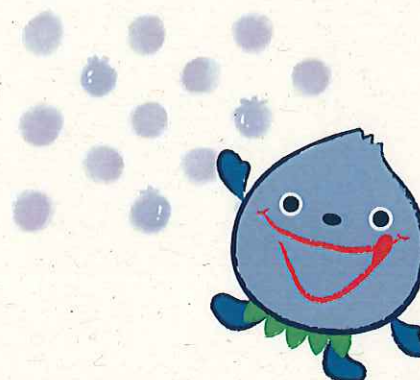
職業能力開発総合大学校 建築研究会

私たちの小川駅西口地区を考える。
2022年度に完成予定の小川駅西側の超高層ビルとその計画をベースに、さらに良い「小川西町」にするにはどうあるべきかを考えました。



白梅学園大学 白梅子育て広場

私たちは小平西地区を拠点に活動している子育て支援団体です。地域に開けた企画を開催することによって、安心して遊べる場を作り、子育てしやすい地域を目指して活動しています。





今後の展望

小平市大学連携協議会の未来

平成 25 年に小平市大学連携協議会ができて 8 年が経過し、小平市内の大学と小平市の連携が大いに進んだことは嬉しいことです。既に各大学も小平市と個別に包括連携協定を結び、個別に大学と行政が協力し合う体制ができてきたことは、設立当初の手探り状態から比べると長足の進歩になります。大学にとっては研究室の中での研究から市民と直接ふれあう中での研究につながる機会になりますし、小平市にとってもそれぞれの分野の専門家と関わりながらの施策になり、より高度な地域コミュニティづくりにつながる機会になると思います。

令和 2 年度は小平市が第四次長期総合計画を立案し、12 年先までを見通した方針を決定しています。小平市はこの計画の立案にあたって、小学生や中学生だけでなく市内の大学生からも意見を聞いています。もちろん全員ではないのでまだまだ掘り起こしていく声はあると思いますが、様々な声が反映されていることは確かです。

さてこの協議会の未来ですが、やっと形ができてきたところで実質的な連携をする準備ができたというのがこの 8 年間だと思います。学生が地域に発表する「まちで楽しむ」や地域の NPO 等が学生を受け入れる「こ दौर NPO 体験セミナー」、小平市が学生の地域活動を財政的に支援する活動等は進んでいますが、まだまだ専門性を生かした連携にはなっていません。現在加入している 7 つの大学はそれぞれ違った特徴を持っており、それぞれの専門の分野から小平市との連携を強めていけば、この協議会の規約にある「相互の資源を活用した連携を促進し、地域社会の発展及び人材の育成に寄与することを目的とする」(第 3 条)、「地域文化、産業振興、自然・環境、健康福祉、人材育成、生涯学習の分野等において連携し、事業を行う」(第 4 条)に近づくことになると思います。大学の代表と小平市の代表が会して語り合うこともその一歩だと思います。

ここまで発展させてくれた各大学の関係者と、とりわけ小平市の中で事務局の仕事を引き受けてくれている小平市地域振興部市民協働・男女参画推進課の方々に感謝申し上げます。

小平市大学連携協議会会長
瀧口 優 (白梅学園短期大学)

